

科目名：看護技術の統合		必	1 単位
(Integration of Nursing skill) 履修年次/時期：3 年次 通年 授業形態：講義・演習 担当教員：棚橋泰之、石川徳子、真田英子、中村仁志、村井みどり、飯塚雅子、森脇佳子、石川智子 (全員実務経験あり)			
学修目的	臨地での看護実践力につながるよう、基本的な看護援助技術を中心としたシミュレーション学習を通して、医療安全、医療倫理、コミュニケーション能力など看護実践に必要な知識と技術を再確認し、卒後看護実践の場で必要とされる実践力の基盤づくりを行う。 DP3- (1) (3) および CP3、5、6 に関連する。 科目No.KNz-402		
到達目標	1. 統合的な知識と技術を活用し、事例についての看護過程が展開できる。 2. 統合的な知識と技術を活用し、基本的な援助技術が実践できる。 3. シミュレーション学習を通して、対象に必要な看護援助技術を実践できる。 4. シミュレーション学習を通して、医療安全、医療倫理、コミュニケーション能力など看護実践に必要な知識と技術を再確認できる。 5. 授業全体を通して、卒後での看護実践の基盤づくりができる。		
授業概要	既習の援助技術を使って、要介護状況にある対象者の疾病予防、健康維持・増進の視点から摂食、嚥下に関する口腔ケア・リハビリテーションの必要性がわかり、看護を実践できる能力を養う。これまで学習してきた技術を複数の課題をもつ患者に、複合して技術提供することをシミュレーションし、安全安楽を考え、演習を通して学ぶ。実習において体験できなかった技術や、卒業後を見越した診療の補助技術について実際を想定した技術のまとめを行う。		
評価方法	筆記試験 30% 成果物 70% 評価に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	各看護学領域で使用教科書		
参考書	授業の中で紹介する		
お問い合わせ先	授業後にアポイントメントをとってください。不在の場合は、E-mail で連絡して下さい。 棚橋泰之：3 号館研究室 tanahashi@kdu.ac.jp 石川徳子：3 号館研究室 ishikawa.tokuko@kdu.ac.jp 真田英子：3 号館研究室 sanada@kdu.ac.jp 中村仁志：3 号館研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp 村井みどり：3 号館研究室 m.murai@kdu.ac.jp 森脇佳子：3 号館研究室 moriwaki@kdu.ac.jp 飯塚雅子：3 号館研究室 iizuka.masako@kdu.ac.jp 石川智子：3 号館共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp		